



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東  
 コード番号 3175 URL http://www.apcompany.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03-6435-8440  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,589	0.5	401	52.3	612	46.6	180	27.1
29年3月期第3四半期	19,484	22.3	263	△58.0	417	△46.5	141	△68.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 198百万円(28.6%) 29年3月期第3四半期 154百万円(△63.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	25.00	—
29年3月期第3四半期	19.67	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	13,975	3,947	27.5	532.83
29年3月期	13,840	3,717	26.3	505.90

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,837百万円 29年3月期 3,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	5.9	650	107.4	800	51.7	380	205.9	52.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	7,427,850株	29年3月期	7,427,850株
30年3月期3Q	225,185株	29年3月期	225,185株
30年3月期3Q	7,202,665株	29年3月期3Q	7,202,665株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、アメリカの政策動向や北朝鮮情勢など海外における地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、野菜等の価格の高騰や物流費の上昇に伴う原材料価格の高止まり、人手不足による人件費の上昇に加え、天候不順の影響等もあり、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費環境の変化が見込まれることに対応し、「日本の食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、既存ブランドの強化、新ブランド店舗の開発、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスの更なる強化に取り組んでおります。当四半期はグループ全体で新規出店を行わず、人材の確保及び教育、生産地の開拓及び生産者との継続的な深い関わりによる商品力の強化など、事業基盤の強化に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,589百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は401百万円（前年同期比52.3%増）、経常利益は612百万円（前年同期比46.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。このため、食産業全般において、円安進行や天候不順の影響で、仕入価格の不安定化が事業課題になっておりますが、当社グループにおいては主要食材を当社グループ会社や安定した契約農家などから調達を行うことが事業の安定化につながり強みとなっております。

ただし直近では、魚業態店舗は増加しているため鮮魚の流通量は増加傾向となっているものの、「塚田農場」ブランド店舗の店舗数及び売上高が横ばいとなっていることにより、地鶏の生産量や野菜の流通量が若干減少傾向となっております。このため生産子会社における加工場等の稼働率が低下し、セグメント利益が減少する要因となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,696百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は59百万円（前年同期比63.9%減）となりました。

#### ②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の全店舗売上が、前年同期比97.9%となりました。これは前年同期比で国内の外食店舗数が5店舗増加し当第3四半期末時点で198店舗となったものの、既存店の売上高が前年同期比で減少しているため、全体として販売事業の売上高は、ほぼ横ばいとなっているものです。

販売事業の売上高は横ばいですが、セグメント利益は改善傾向にあります。店舗でのコスト見直しの効果による店舗利益の改善や店舗の出店を含む新規事業の立上げ費用の削減、本部コストの見直しにより経費削減が進捗していることによるものです。海外も含めた新規出店は9店舗、閉店2店舗、業態変更4店舗で、当第3四半期末時点で直営店舗数は215店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は18,769百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は352百万円（前年同期比159.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は13,975百万円(前連結会計年度比135百万円の増加)となりました。これは主に季節性で12月の売上が多いことによる売掛金の増加182百万円によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,947百万円(前連結会計年度比229百万円の増加)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は27.5%(前連結会計年度比1.2ポイント増)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益180百万円により自己資本が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,217,973	3,565,000
売掛金	843,165	1,026,085
たな卸資産	845,231	809,814
繰延税金資産	148,744	147,006
その他	413,668	419,059
貸倒引当金	△2,602	△3,084
流動資産合計	5,466,181	5,963,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,507,595	6,918,648
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,130,742	△2,549,865
建物及び構築物(純額)	4,376,853	4,368,783
工具、器具及び備品	2,417,465	2,532,427
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,516,168	△1,795,031
工具、器具及び備品(純額)	901,296	737,395
その他	515,922	507,833
減価償却累計額及び減損損失累計額	△246,221	△285,205
その他(純額)	269,700	222,627
有形固定資産合計	5,547,851	5,328,806
無形固定資産		
のれん	246,354	103,737
ソフトウェア	79,374	94,177
その他	33,580	31,247
無形固定資産合計	359,309	229,163
投資その他の資産		
投資有価証券	141,378	157,867
敷金及び保証金	1,925,102	1,923,322
長期貸付金	21,888	18,893
長期前払費用	271,819	251,800
繰延税金資産	94,591	94,591
その他	14,331	7,641
貸倒引当金	△2,247	—
投資その他の資産合計	2,466,864	2,454,115
固定資産合計	8,374,025	8,012,085
資産合計	13,840,206	13,975,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	988,858	1,096,218
短期借入金	141,824	165,676
1年内償還予定の社債	197,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	1,984,889	2,220,908
未払金	215,326	101,549
未払費用	1,147,441	1,146,080
未払法人税等	104,782	206,590
その他	557,753	444,630
流動負債合計	5,337,875	5,496,655
固定負債		
社債	225,500	169,000
長期借入金	4,272,248	4,151,748
繰延税金負債	23,679	23,679
その他	263,551	187,544
固定負債合計	4,784,978	4,531,972
負債合計	10,122,854	10,028,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	3,100,252	3,280,326
自己株式	△374,840	△374,840
株主資本合計	3,696,447	3,876,521
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△52,597	△38,742
その他の包括利益累計額合計	△52,597	△38,742
新株予約権	2,806	2,806
非支配株主持分	70,696	106,755
純資産合計	3,717,351	3,947,341
負債純資産合計	13,840,206	13,975,968

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,484,405	19,589,095
売上原価	6,449,054	6,398,608
売上総利益	13,035,350	13,190,487
販売費及び一般管理費	12,771,766	12,789,132
営業利益	263,584	401,354
営業外収益		
受取利息及び配当金	379	1,609
持分法による投資利益	—	16,489
為替差益	—	14,743
協賛金収入	198,857	175,989
その他	22,711	55,900
営業外収益合計	221,948	264,732
営業外費用		
支払利息	40,706	42,474
為替差損	6,435	—
その他	20,620	11,057
営業外費用合計	67,762	53,532
経常利益	417,769	612,554
特別利益		
固定資産売却益	16,000	—
特別利益合計	16,000	—
特別損失		
賃貸借契約解約損	8,651	—
固定資産除却損	2,791	1,594
減損損失	102,832	192,089
特別損失合計	114,275	193,683
税金等調整前四半期純利益	319,494	418,870
法人税、住民税及び事業税	171,808	234,797
法人税等調整額	13,422	1,737
法人税等合計	185,230	236,534
四半期純利益	134,263	182,335
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,399	2,261
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,663	180,074



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	134,263	182,335
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	20,333	16,399
その他の包括利益合計	20,333	16,399
四半期包括利益	154,597	198,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,331	193,929
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,733	4,806

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。